

公益社団法人 日本義肢装具士協会

第5期役員候補者選挙 立候補者

経 歴 書

理 事 …… 1 頁

監 事 …… 6 頁

理事

立候補者

15名

定められた書式にて本人が記述しました。

五十音順にて掲載しました。

年齢は、平成30年12月1日現在です。

1		氏名：石原 栄治（いしはら えいじ）	年齢：57
		所属施設：有限会社 大阪義肢	所属支部：西日本支部
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> 平成元年 有限会社大阪義肢入社 平成17年～現在 有限会社大阪義肢代表取締役 平成7年～29年 神戸医療福祉専門学校三田校義肢装具士科非常勤講師 平成13年～現在 (公社)日本義肢装具協会理事 平成17年～24年 日本義肢装具士協会西日本支部長 平成25年～現在 (公社)日本義肢装具士協会副会長 平成23年 第18回日本義肢装具士協会学術大会大会長 平成26年～現在 (一社)日本義肢装具学会正会員
抱負	<p>坂井会長のもと、内外に開かれた協会を目指して、この6年間で代議員制や公益社団法人化の実現、義肢装具関連3団体連絡協議会や同2団体連絡協議会の設立に微力ではありますが協力してまいりました。また、現在は義肢装具士の専門職としての対価化を明文化すべくWGの責任者として尽力しております。療養費問題とも相まって、緊急を要する協会の課題として解決しなければならない問題となっております。協会を取り巻く様々な課題とともに少しでもその解決に向けて前に進めたいと考えております。</p>		
2		氏名：内田 源生（うちだ みなお）	年齢：45
		所属施設：株式会社 田村式義肢製作工業所	所属支部：東北支部
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> 1997. 11～現在 株式会社 田村式義肢製作工業所 勤務 2005. 4～2011. 3 日本義肢装具士協会 研修委員会 委員(東北支部) 2012. 4～現在 日本義肢装具士協会 研修委員会 副委員長(東北支部)
抱負	<p>今回、立候補させていただきました内田です。2008年に仙台で開催された第15回大会の大会長を務められた故乳井守氏に『これからの若い子達の道を作りたいので力になってほしい』と研修委員に誘われたのが10年前の話です。臨床経験数年でこの業界を去る若者が最近多いと聞きます。職種が多様化する時代に伴い、この仕事に魅力を感じられない人が増えていると推測します。そのような若者がこの仕事に誇りと希望を持てるような環境にかつ、今日まで協会を支えていただいている会員の皆様の力になればと思っています。</p>		
3		氏名：大塚 博（おおつか ひろし）	年齢：50
		所属施設：人間総合科学大学	所属支部：東日本支部
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> 1988. 4～1994. 3 法政大学工学部 入学～同大学院修士課程 修了 1994. 4～1997. 3 現・国立障害者リハビリ学院 入学～卒業 1997. 4～2011. 3 兵庫リハ、帝京大学、国リハ、新潟医療福祉大学 勤務 2011. 4～現在 人間総合科学大学 勤務 2007. 3 博士(工学)取得(芝浦工業大学) 1999. 4～2003. 3 日本義肢装具士協会 編集委員(西日本支部) 2005. 4～2018. 3 日本義肢装具士協会 常任理事 2018. 4～現在 日本義肢装具士協会 副会長
抱負	<p>2017年12月に念願の公益法人化を成すことができました。義肢装具士の認知度向上も必要な活動ですが、社会からの期待、そして将来予測の視点に立ち、今何をすべきかを考えて、目標に向かって前進させることが、ますます重要と考えます。どうぞよろしく願いいたします。</p>		
4		氏名：狩野 綾子（かの あやこ）	年齢：48
		所属施設：株式会社 有菌製作所	所属支部：南日本支部
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> 1992. 3 西南学院大学 文学部 英文学科卒業 2002. 3 神戸医療福祉専門学校 義肢装具士科 卒業 1993. 4～1999. 3 直方市立直方第三中学校 教諭(英語) 2002. 4～ 株式会社有菌製作所 勤務 2007. 4～2008. 3 国立福岡東リハビリテーション学院 理学療法学科 非常勤講師 2007. 11～2011. 10 日本義肢装具学会 研修委員 2010. 4～ 産業医科大学リハビリテーション医療研究会世話人 2014. 4～ 広島大学医学部保健学科 理学療法専攻 非常勤講師
抱負	<p>一生懸命務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p>		

5		氏名：小嶋 聡（こじま さとし）	年齢：53
		所属施設：北海道ハイテクノロジー専門学校	所属支部：北海道支部
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> 1989.4~2006.1 九州厚生年金病院(現：JCHO九州病院) 勤務 2006.2~現在 北海道ハイテクノロジー専門学校 1993.5~1997.3 日本義肢装具士協会 編集委員会 委員(南日本支部) 2009.4~2011.3 日本義肢装具士協会 編集委員会 委員(北日本支部) 2011.4~2015.3 日本義肢装具士協会 編集委員会 副委員長(北日本支部) 2013.4~現在 日本義肢装具士協会 理事 2015.4~現在 日本義肢装具士協会 支部長(北海道支部)
抱負	義肢装具士としての技術や知識の向上や社会への貢献が義肢装具士協会に求められています。大規模災害における義肢装具士の役割をはじめとして、地方において会員の皆様などに貢献できるように取り組んでいきたいと思っております。		
6		氏名：昆 恵介（こん けいすけ）	年齢：43
		所属施設：北海道科学大学	所属支部：北海道支部
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・1997.4~2004.3 有限会社 藤塚製作所 義肢装具士 勤務 ・2004.4~2009.3 早稲田医療技術専門学校 専任講師 ・2009.4~2012.3 北海道工業大学 工学部医療福祉工学科 助教 ・2014.4~2018.9 北海道科学大学保健医療学部義肢装具学科 准教授 ・2015.6~現在 日本義肢装具学会 編集委員 ・2015.4~2016.9 日本義肢装具士協会 研修副委員長(北海道支部) ・2016.10~現在 日本義肢装具士協会 理事・研修委員長・継続教育部長 ・2018.10~現在 北海道科学大学保健医療学部 教授
抱負	技術は過去の失敗を繰り返さないように記録によって傳承されていきますが、技能では、本人の成長のみによって修得できる職人的能力です。もちろん技能は大事ですが、先人の技能を未来へ繋ぐための技術でなくては、義肢装具士の未来はないと考えます。私の役割は、教育研究という専門分野の立場から、義肢装具業界を技術者集団として確立し、「義肢装具士」という職業の社会的認知を広く得ることを目標としたいと考えています。どうかよろしくお願いたします。		
7		氏名：佐熊 重広（さくま しげひろ）	年齢：51
		所属施設：神戸医療福祉専門学校三田校	所属支部：西日本支部
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> 1991.4~2012.7 川村義肢株式会社 20012.10~2014.3 有限会社永野義肢 2014.4~現在 神戸医療福祉専門学校三田校 2013.4~現在 日本義肢装具士協会 理事
抱負	現在西日本支部支部長を務めさせて頂いております。義肢装具士の皆様および協会の発展の為に、近年の情勢の変化をうまく取り入れた活動を計画性を持って実行していきます。		
8		氏名：中村 隆（なかむら たかし）	年齢：52
		所属施設：国立障害者リハビリテーションセンター 研究所	所属支部：東日本支部
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・1994.3 東京工業大学大学院理工学研究科化学専攻 博士課程修了。 ・1994.4 (株)富士写真フイルム 入社。足柄研究所研究員。 ・2000.4 国立身体障害者リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科入学 ・2003.3 同卒業。 ・2003.4 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 義肢装具士 入職 ・2018.1~現在 国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 副義肢装具士長
抱負	私はリハビリテーションセンターという医療施設に勤務し、研究所の所属として臨床業務と研究業務に従事しています。現在、日本の義肢装具士のほとんどが義肢装具製作所に勤務していますが、多くの義肢装具士とは異なった立場から日本の義肢装具士の未来に新たな風を吹き込みたいと思っています。		

9		氏名：中村 喜彦（なかむら よしひこ）	年齢：47
		所属施設：国立障害者リハビリテーションセンター 学院	
抱負		所属支部：東日本支部	入会日(正会員)：2007年 2月 26日
		略歴 ・2004.4 株式会社 松本義肢製作所 入社 ・2008.7 日本義肢装具士協会 中部日本支部研修委員 ・2009.5～ 国立障害者リハビリテーションセンター学院義肢装具学科 入職 ・2013.7～ 日本義肢装具士協会 理事・総務委員 ・2015.7～ 日本義肢装具士協会 理事・総務委員長 ・2017.7～ 日本義肢装具士協会 常任理事・総務委員長	
<p>義肢装具士を取り巻く課題への対応に加え、今後は広く国民の利益に資する活動も求められます。これまでの経験を活かし、既存事業の効率化と財政面を鑑みた新規事業の実現等、円滑で効率的な協会運営に取り組んでいきたいと思っております。微力ではございますが、会員の皆様へのサービス向上、協会のより一層の発展、そして地域社会への貢献のため尽力させていただき所存です。</p>			
10		氏名：榎木 祥子（にれき しょうこ）	年齢：49
		所属施設：オズール・アジア	
抱負		所属支部：東日本支部	入会日(正会員)：2001年 5月 8日
		略歴 ・2004年～現在 オズール・アジア ・2013年～ 義肢装具士協会 国際委員会 委員 ・2015年～現在 義肢装具士協会 国際委員会 委員長 ・2017年～現在 義肢装具士協会 学術大会顧問理事	
<p>義肢装具の業界の発展に貢献するため、国際、学術大会、広報などの委員会を始めとした協会の活動を通し、短期・長期的な課題に取り組み、努力いたす所存です。よろしくお願いたします。</p>			
11		氏名：根岸 和諭（ねぎし かずゆ）	年齢：50
		所属施設：国立障害者リハビリテーションセンター 学院	
抱負		所属支部：東日本支部	入会日(正会員)：1997年 9月 2日
		略歴 平成9年 国立身体障害者リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科 卒業 平成9年 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所 補装具製作部 非常勤 平成10年 国立身体障害者リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科 勤務 平成13年～17年 日本義肢装具士協会会則検討委員会 委員長 平成13年～23年 日本義肢装具士協会 理事 平成17年～23年 日本義肢装具士協会 副会長	
<p>現在、義肢装具士を取り巻く環境は大きく、また急速に変わってきていると感じています。それは技術的なことは勿論、義肢装具に関する制度やそれを使用する対象、そして根本的なところで、そもそも義肢装具とは何か、つまり義肢装具士が扱うものは何なのか、といったことです。私が義肢装具士協会で理事を務めていた6年前に比較しても急激に変わっています。そのような状況の中で(公社)義肢装具士協会が社会に要請される、また果たすべき役割とは何かを常に念頭に置き、微力ながら尽力する所存です。</p>			
12		氏名：野坂 利也（のさか としや）	年齢：58
		所属施設：北海道科学大学	
抱負		所属支部：北日本支部	入会日(正会員)：1993年 2月 17日
		略歴 ・1986.4～1992.9 国立身体障害者リハビリテーションセンター勤務(厚生教官) ・1992.10～2003.3 (有)野坂義肢製作所勤務(専務取締役) ・2003.4～ (有)野坂義肢製作所勤務(代表取締役) ・2006.4～2012.3 北海道工業大学工学部福祉生体工学科勤務(教授) ・2012.4～2014.3 北海道工業大学医療工学部義肢装具学科(主任教授) ・2014.3～ 北海道科学大学保健医療学部義肢装具学科(教授) ・1994.4～2008.3 日本義肢装具士協会理事 ・2017.4～ 日本義肢装具士協会理事、副会長	
<p>1期2年 副会長を務めさせていただきました。義肢装具士の業務指針、教育制度、既製品の問題を中心に仕事してきました。現体制下で何とか問題を解決していきたいと考えております。来年度からは日本義肢装具学会の副会長職も解かれるので、日本義肢装具士協会の仕事に専念していきたいと考えております。よろしくお願致します。</p>			

13		氏名：保谷 純一（ほうや じゅんいち）	年齢：48
		所属施設：公益財団法人 鉄道弘済会 義肢装具サポートセンター	
抱負		所属支部：東日本支部	入会日(正会員)：2001年 5月 17日
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・平成6年 早稲田医療専門学校 義肢装具学科 卒業 ・平成6年～現在 (財)鉄道弘済会 東京身体障害者福祉センター 勤務 ・平成12年 東京電機大学 機械工学科 卒業 ・平成13年～平成22年 日本義肢装具士協会 研修委員会 副委員長(東日本支部) ・平成15年～現在 日本義肢装具士協会 理事 ・平成21年 国際医療福祉大学大学院 前期課程修了(保健医療学修士) ・平成23年～平成28年 日本義肢装具士協会 研修委員長 ・平成25年～現在 (一社)日本義肢装具士協会 東日本支部長
		支部長として、今期は支部会のメンバーとともに多岐に亘る支部事業活動の企画・運営に取り組んできました。主な活動として、公益目的事業では「義肢装具体験イベント」を3校の中学校で実施し、東京都教育委員会が主管するオリパラ教育推進事業に参画して2校の小学校でイベントを実施いたしました。また、関連団体と協同で合同セミナーの開催や、新潟福祉機器展に当協会のブースを出展し義肢装具士の広報を行いました。次期は、これまで築いた支部事業を更に有益なものにする為に、活性化に取り組む事を目標に活動いたします。	
14		氏名：本田 智裕（ほんだ ともひろ）	年齢：49
		所属施設：熊本総合医療リハビリテーション学院	
抱負		所属支部：南日本支部	入会日(正会員)：1993年 6月 28日
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> ・平成4年～平成17年 有園義肢株式会社 勤務 ・平成17年～現在 熊本総合医療リハビリテーション学院 勤務 ・平成23年～現在 日本義肢装具士協会 南日本支部長
		南日本支部長を3期務めてきました。この経験を次期支部運営に生かしていきたいと考えております。また、義肢装具士が昨今抱えている問題の解決と同時に日本義肢装具士協会の発展のため全力で取り組んでいき、これからの義肢装具士のあり方を皆さんと一緒に考えていけるよう頑張りたいと思います。	
15		氏名：宮本 武志（みやもと たけし）	年齢：47
		所属施設：専門学校 日本聴能言語福祉学院 義肢装具学科	
抱負		所属支部：中部日本支部	入会日(正会員)：1997年 11月 10日
		略歴	<ul style="list-style-type: none"> 1993年7月～ 国際協力事業団 青年海外協力隊(平成5年度1次隊派遣) 1997年2月～ (有)野坂義肢製作所 勤務 2004年4月～ 専門学校 日本聴能言語福祉学院 義肢装具学科 勤務 2007年4月～ 一般社団法人日本義肢装具士協会 編集委員(中部日本支部) 2014年10月～ 一般社団法人日本義肢装具学会 研修委員 2015年7月～ 一般社団法人日本義肢装具士協会 理事 2016年10月～現在 一般社団法人日本義肢装具学会 研修委員 2017年7月～現在 公益社団法人日本義肢装具士協会 理事、中部日本支部長
		一般社団法人日本義肢装具士協会は、今日まで多くの義肢装具士の皆様方に支えられながら発展してまいりました。今回私は、微力ではありますが本会の発展に少しでもお役に立つことが出来ないかと考え立候補させて頂きました。	

監 事

立候補者

3 名

定められた書式にて本人が記述しました。

五十音順にて掲載しました。

年齢は、平成 30 年 12 月 1 日現在です。

1		氏 名： 東江 由起夫 （ あがりえ ゆきお ）	年齢： 55
		所属施設： 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 義肢装具自立支援学科	所属支部： 東日本支部
		略 歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1986. 4～1999. 12 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 勤務 ・ 2000. 1～2000. 8 オットー・ボックジャパン株式会社 勤務 ・ 2001. 2～2007. 3 早稲田医療技術専門学校義肢装具学科 勤務 ・ 2007. 4～現在 新潟医療福祉大学リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科 ・ 1993. 5～2009. 3 日本義肢装具士協会 理事 ・ 1993. 5～1999. 3 日本義肢装具士協会 編集委員会 委員（東日本支部） ・ 1999. 4～2006. 3 日本義肢装具士協会 編集委員会 委員長（東日本支部）
抱負	協会の理事を離れしばらく経ちますが、坂井一浩会長をはじめとする理事会の新しい方針作りや組織作りなど、その運営等に微弱ながらもサポートできればと思っています。皆様、よろしお願い致します。		
2		氏 名： 小谷 和男 （ おだに かずお ）	年齢： 59
		所属施設： 株式会社 小谷義肢	所属支部： 西日本支部
		略 歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和58年 4月 株式会社小谷義肢 入社 ・ 平成 5年 5月 日本義肢装具士協会 理事、編集委員 ・ 平成 6年10月 土佐リハビリテーションカレッジ非常勤講師 ・ 平成11年 6月 第6回日本義肢装具士協会研究会（徳島大会） 大会長 ・ 平成15年 4月 日本義肢装具士協会 広報副委員長 ・ 平成17年 4月 日本義肢装具士協会 監事 ・ 平成20年11月 日本義肢装具学会 評議委員 ・ 平成29年 4月 徳島文理大学保健福祉学部非常勤講師
抱負	協会発足より6期12年に渡り、理事を務めて参りました。その間には、編集委員と広報副委員長の仕事を兼務し、IDカードの発行にも携わりました。第6回日本義肢装具士協会研究会（徳島大会）を開催し業界として、いち早くスライドレス化（パソコンを用いPowerPointを利用したプレゼンテーション）に取り組み、海外とのインターネット接続によるリアルタイムTV会議も初めて実現しました。7期からは、財産監査及び理事の業務執行の状況を監査する監査役として監事の責を努めています。今期においても、積年の監査責務を活かし協会発展のために寄与していく所存です。		
3		氏 名： 佐々木 智也 （ ささき ともや ）	年齢： 59
		所属施設： 株式会社 佐々木製作所	所属支部： 西日本支部
		略 歴	<ul style="list-style-type: none"> 昭和61年 3月 国立身体障害者リハビリテーションセンター学院 卒業 昭和61年 4月 佐々木製作所 入職 平成 7年 日本義肢装具士協会 理事、平成 9年日本義肢装具士協会 西日本支部長 平成13年 日本義肢装具士協会 常任理事 倫理委員長 平成15年（社）日本義肢協会 理事、平成19年 同協会 理事（近畿支部長） 平成24年-現在（一社）日本義肢装具学会 評議員 平成24年-平成28年（一社）日本義肢協会 理事（近畿支部長・特別委員会委員長） 平成28年-現在（一社）日本義肢協会 監事、平成25年-現在（公社）日本義肢装具士協会 監事
抱負	協会発足前から組織作りの為にPOOB会を中心に年1度のセミナー（後の研究会、学術大会）を開催し、会報誌（後のジャーナル）の発刊などに携わり、協会発足後は理事、西日本支部長、2度の研究会本部長、常任理事を勤め協会の基盤作りに微力ながら関わりました。その後、社団法人日本義肢協会（現 一般社団法人日本義肢協会）理事、近畿支部長、日本義肢装具学会評議員を兼務、現在も協会監事を拝命し財産監査、理事の業務執行監査はもとより多角的に協会を審査し、協会が社会的責務を自覚し更なる貢献が出来るように寄与していきます。引き続きどうぞよろしくお願いたします。		